

公益信託北海道開発国際交流基金 2024年度採択事業 実施概要のご紹介

1. (コンベンション事業) 第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議 (2024札幌)

申請者：第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議 札幌実行委員会

地球規模の気候変動が水やエネルギーの循環に及ぼす影響について、最新研究や社会での応用事例を発信しながら、国民全体の気候変動や防災への意識醸成に繋^{つな}げることを目的に開催された国際会議です。同国際会議の日本初開催でもあり、5日間の開催期間に、世界45の国と地域から、研究者や協賛機関、ステークホルダー等を含めて合計1,300名が参加しました。研究者によるセッションに加え、市民向け講演会等の関連プログラムも開催され、学術的な成果が、気候変動分野における政策や地方公共団体、市民レベルでの活動を推進している状況を示すことができました。



2. (派遣事業) 世界を知るスタディツアーによる高校生派遣事業

申請者：一般社団法人 滝川国際交流協会

ESD (Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育) の視点から、異文化を理解し国際的視野を広め、国際人としての人間形成を目標として、2025年1月19日(日)～24日(金)に、滝川市内の高校に在籍する5名がシンガポールに派遣されました。シンガポール国立大学での学生との交流ほか各地を訪問し、多文化共生社会の実現やSDGs、短期間で急速な経済成長の様子等を学びました。帰国後に市内で報告会を実施するなど、国際的な視点で思考する力を養う取り組みも実施しています。参加した高校生からは、英語で現地の大学生と交流したことの達成感や、異文化に触れて得た学び、さらなる国際交流への意欲が高まったことなどが報告されました。ツアー全体の満足度も非常に高く、今後も後輩のため、是非開催して欲しいとの意見が寄せられています。



3. (コンベンション事業) 2024UCCNデザイン都市旭川会議

申請者：2024UCCNデザイン都市旭川会議 開催実行委員会

旭川市は2019年にUCCN（ユネスコ創造都市ネットワーク）に加盟認定を受け、デザインの力を活かした持続可能な都市作りを目指しています。5日間の会議期間中に、UCCN加盟の21か国23都市から48名が旭川市を訪れました。会議中、「デザイン都市旭川宣言」が採択され、デザインの力で自然と社会の調和を図り、持続可能で幸せな未来を創るために連携して取り組んでいくことが合意されました。本会議の実施により、世界のデザイン都市担当者と直接対話・交流できただけでなく、エクスカッションや地域住民との交流を通じて旭川地域の魅力と価値を世界に広く伝える機会が創出され、世界市場での販路拡大が期待できるとともに、国際的な発信力を強化することができました。



4. (派遣事業) 米国シーニックバイウェイとシーニックバイウェイ北海道の連携協定締結に向けた調査団の派遣事業

申請者：一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター

シーニックバイウェイの先進地域である米国のプログラムや地域活動についての現地調査と、米国の「コロラドシーニック&ヒストリックバイウェイ」と「シーニックバイウェイ北海道」の姉妹ルート協定締結に向けた調整を行い、その結果を日本国内の「シーニックバイウェイ」や「日本風景街道」に還元することを目的として調査団を派遣しました。調整の成果もあり、現地訪問後の2025年6月に、当該姉妹ルート協定締結への調印式が行われ、姉妹バイウェイとして活動を進めていくことが決定しました。また、現地調査で得た情報を整理した冊子を作成し、関係団体へ配布する予定もあります。これにより、米国シーニックバイウェイの現状について、関係団体へ貴重な情報を提供できることが期待されます。

